

平成31年度 施設としての自己評価

中田 おひさまの森保育園

平素は中田おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
遊びの環境の見直し	3	昨年度に続き、歳児ごと年間カリキュラムを読み解くこと、理解することに重きを置きながら一年通して学びを深めていった。年度末のねらいを意識していくことで、個々の育ちが現在のあたりに位置するの か、また個と集団の育ちをみていく中で発達年齢にあった環境とはどうなのか？今子ども達の育ちと 合うものは何か？をより多角的な視点でみていくことができたのではないかとと思う。 また連携園がある利点を生かし、自園の課題を明確化した上でベンチマークにいくことで、他園の良い部 分を知り、職員と話し合いを重ねながら自園をより良い物にしていく為のツールとして活用することができ たと思う。特に夕方からの過ごし方は年間のテーマでもあった為、明日に繋がっていく為の大切な時間と して常に玩具の選定、環境の見直し等を図っていった。
発達や子どもの育ちに合わせた環境作りがなされ、子どもの興味・ 意欲が発揮されるものになっている		
遊びの質の見直し	3	昨年度話し合いを重ねた「遊びの質」という部分を起点に今年度も遊びを通して子どもの興味・意欲・関心 を高め、広げていくことに努めていった。歳児ごと、また個の育ちにおいても、子どもたちの「今」の興味か どこにあるのかが異なってくるため、常に指針となる歳児ごとの発達を意識しながらも、集団で見過ぎるこ となく、1人ひとりが集中して遊ぶことができ、またやりきったと思える時間を積み重ねていくことが重要だ と感じた。そして1人ひとりが「やりたい」というチャレンジする気持ち(意欲)を育んでいくことが大切なこと であると考え、今後も興味、意欲、関心の先に行動が表れてくるよう、日々支援に努めていきたい。
常に遊びの質の見直しと向上に努め、遊びを通して子どもの興味・ 意欲・関心を高め、広げていく		
●職員研修		
絵本・絵本の読み聞かせについて	4	「絵本とは何か?」「絵本を通して子どもたちに何をギフトしたいのか?」を考え、実際に読み聞かせに活用してい った。具体的には歳児にあった選書をする、実際に読み聞かせの部分を撮影し、記録を職員同士で見直しをはかり ながら、子どもの視線の向き、集中力、読み際の環境、保育者の声量、速度、体の向きなど、細かいところまで分析を 繰り返し、自己評価と他者評価を用いながら、よりよく子どもたちに「絵本」というものと触れあうことができるように分析 と再実践を繰り返していった。またこれまで何かの合間に読むことが多かった絵本であったが、この学びを通して絵本 そのものへの考え方に変化がみられ、同時にこの学びを機に「考える」習慣化が広がってきた。
・「絵本とは?」「絵本が子どもにとって与えるものとは何か?」を 考え、年齢に合わせた絵本の与え方を考え実践していく		
言葉の発達について	3	まず歳児ごと言葉の発達の基準について学び、その基準を元に分析項目を構築していった。分析項目の基準 がずれてしまうと以降の実地分析に正確性が無くなるため、発達基準を学ぶこと、分析項目を作り上げていくこ とに多くの時間を費やしていった。そして分析項目を元に各クラスの子どもの「言葉の発達」が、どのあたり にあるのかを調べていく。調べていく際には状況や場面・対象人物など細かに変化をさせながら、正しく分析が なされるように繰り返し行っていった。長い時間をかけ行った分析結果を基に、実際の子どもたちへの接し方・援 助の方法を全職員で考え、実践したが、分析を行ったことで職員自身の子どもの発達理解に繋がりと、全体と個 の育ちを理解しながら援助にあたることができたと思う。
・歳児ごとの言語理解の分析 ・分析をもとに実際に援助 ・職員の言葉遣いについて		
個人情報・感染症について	4	毎年ミーティングを含めて学びを深めてきた中で、今年は知識の部分にも焦点を絞り、一人ひとりが確実 に身につけていくことを目標としていた。自身がどこまで理解しているのか、何が理解できていなかったの かを知るためにも、7園全体で行われたテストが有効的に活用できたのではないかとと思う。これまでは正 規職員と非正規職員の間で、どこか認識的な部分で出来ていた差が、テストを用いることで「個」の意識 に変わり、個人が自分事として捉え、確実に正しい知識と実践力がついたのではないかとと思う。
個人情報・感染症についての基礎知識をはかり、確実に実践でき たか		

【総評】

平素より園へのご理解ご協力、誠にありがとうございます。
本年度は子ども達にとって身近でもある「絵本について」や、成長発達において重要となる「言葉の発達について」、また近年より重要視されている「個人情報
について」等、職員それぞれが学びを深め、子どもたち1人ひとりが保育園という場を通してより良く育っていくことができるよう日々努めて参りました。常に保
育のプロとして子ども達や保護者様の支援をより良い形で出来るよう、来年度も一層尽力して参ります。
今後ともよろしくお願い致します。

令和2年4月1日

園長 池ヶ谷実咲

上記の園自己評価の結果を掲示とともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。